

早春の高知を彩る春の風物詩「土佐のおきゃく」開宴

土佐の「おきゃく」2025

経済波及効果 20億9,431万円

株式会社四銀地域経済研究所

調査部主任研究員 山本 翔太郎



観光客が低迷する早春の名物イベントとしてスタートした土佐の「おきゃく」は、今年で第18回目の通常開催となった。2025年3月1日（土）～9日（日）の9日間、高知市中心商店街を中心に、宴（うたげ）、ラリー、市（マーケット）、音楽・踊り、アート&カルチャー、スポーツなど40を超えるイベントで賑わった。

～土佐の「おきゃく」Q&A～

Q:そもそも「おきゃく」ってなに？

A:土佐弁で「宴会」の意味です！

土佐では昔から、冠婚葬祭などことあるごとに大勢で集まっては酒を飲み、親交を深めてきました。そうした宴会を「お客（おきゃく）」と言います。参加する人は親族だけでなく、村・町の人、はたまた偶然となり合わせた人など、誰でも気さくに参加できるのが土佐流の宴会です。



土佐の「おきゃく」2025
実行委員長
土佐かつお

Q:どんなイベントなの？

A:中心街など、様々な場所を会場にした大きな宴会！

高知の中心街をはじめ、さまざまな場所を宴会場にみたくて、個性豊かなイベントを開催します。「おきゃく」＝「宴会」ですので、基本、お酒が楽しめる大人向けの宴が繰り広げられますが、どれも「まあ、のんでいきや」と、土佐人のもてなしの文化に触れられる高知らしいイベントです。

酒、グルメ、音楽、アート、よさこい踊りなど、様々なイベントでもてなします。土佐の「おきゃく」に來れば高知の全てが分かると言っても過言ではありません。

高知ならではの当地グルメや地酒などを楽しめる土佐の「おきゃく」



音楽、よさこい踊りなど、様々なイベントが楽しめる
 (左：ラ・ラ・ラ春まつり、右：よさこい春の舞)



Q：人気の秘密を教えてください！

A：スタッフのもてなしの心が県外ゲストを虜に！

「高知の楽しさを知ってほしい」「美味しいものを食べてほしい」「また高知に来てほしい」という、イベントの各主催者のもてなしの心や熱い思いが人気の秘密だと感じています。土佐の人はどんな人でも暖かく受け入れ、その人に喜んでもらうことを最大の喜びと感じているので、初めて訪れた人も自然と馴染んでしまうはずです。



はりまやの大おきゃく



安芸のおきゃく





Q:「おきやく」文化に欠かせない皿鉢と酒。特色は？

A:「献上の美德」が表れた土佐の文化そのもの！

皿鉢料理とは高知県の郷土料理で、大皿に刺身や寿司、煮物や揚げ物、デザートなどが盛り付けられたものです。土佐の「おきやく」も皿鉢料理のように、様々な味わいの違うイベントを一堂に楽しめます。また、新型コロナウイルス感染症の拡大以降自粛傾向が強くなっていますが、高知の宴では「献杯」「返杯」という習慣があります。「献杯」は、目上の人や尊敬する人にお酒を差し上げ、教えを頂戴しながらお酒を飲むというもので、「返杯」は、相手からさされた杯のお酒を飲み干して、その杯を相手に返しお酒をつぐことです。いずれも「献上の美德」が表れた土佐の文化そのものです。



べろべろの神様

©デハラユキノリ
©土佐のおきやく

様々な皿鉢料理が展示される「南国土佐皿鉢祭」



Q: ゆっくりとお座敷遊びを楽しみたい！

A: 酒國・土佐の酒席文化を楽しむなら、「お座敷体験」へ！

「はし拳」や「可杯（べくはい）」、「菊の花」や「しばてん踊り」など、土佐の宴会を盛り上げる「お座敷遊び」が一度に体験できる「土佐のお座敷体験」。高知の地酒と料理を嗜みながら楽しむことができます。



©デハラユキノリ
©土佐のおきゃく

土佐のお座敷体験



土佐のお座敷遊びに欠かせない「はし拳」「可杯（べくはい）」「菊の花」



【要旨】

- 2025年3月1日(土)～9日(日)の9日間、18回目の通常開催となる土佐の「おきゃく」が開催された。
- **土佐の「おきゃく」2025の来場者数は75,892人、経済波及効果は20億9,431万円となった。**
前回 2024年と同様期間中に多様なイベントが開催され、来場者数は前回に比べ減少したものの、県外宿泊客の割合が大幅に増加したことで、経済波及効果は過去最高だった2024年の2倍以上となった。サンプル調査による推計値のため、今回の推計結果が異常値となっている可能性もあるが、従来のSNSや新聞などの情報発信に加え、大阪の高知県産品アンテナショップ「とさとさ」でのPRや、全国メディアでの特集による外部要因もあり、土佐の「おきゃく」の認知度が一気に高まったことで、消費単価の高い県外宿泊客が大きく増加したと考えられる。
- 今後も魅力的なイベントを多数開催し、効果的な情報発信を行うことで、県内の幅広い地域に「おきゃく」の効果が広がっていくことが期待される。

はじめに

本報告書は、高知県の食文化を体験できる早春の一大イベント、土佐の「おきゃく」によって高知県経済にもたらされる経済波及効果を調査・把握し、高知県観光振興の一助を担うことを目的とする。

1. 土佐の「おきゃく」開催の経緯

2005年、土佐経済同友会観光振興委員会において、高知県の観光振興策を議論するなか、四季折々、観光誘客が図れるスーパーイベントを開催することが観光振興には欠かせない、との結論に達した。高知県には、春の「お城祭り」、夏には「よさこい祭り」というスーパーイベントがあり、秋には「龍馬生誕祭」があるものの、冬は「南国土佐皿鉢祭」だけで、ボリュームと奥行きに欠けるとの認識があった。

そのような中、観光客数が低迷する冬場に観光客数を増加させるスーパーイベントを開催し、高知県の観光振興を図るとともに、高知県経済への波及効果を狙い、高知の元気へつなげていこうと、2005年9月、「NPO法人高知の食を考える会」、「土佐経済同友会観光振興委員会」などが中心となって事務局を立ち上げた。その後、運営において実質的な役割を果たす「実行委員会」が発足。実行委員会をサポートし、円滑な事業運営のための後方支援組織として「推進会議」が発足した。

そして2006年に、3月2日のプレ開催日を含め12日まで第1回目の土佐の「おきゃく」2006が開催された。以降、毎年3月初旬に開催されている。

2. 土佐の「おきゃく」2025概要

- (1) イベント名称 土佐の「おきゃく」2025
- (2) 開催期間 2025年3月1日（土）～3月9日（日）の9日間
- (3) 会場 東洋電化中央公園他
- (4) 出店団体 80団体
- (5) 同時開催 第11回全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐（3月1日）

高知県の自然豊かな食材を使った料理や地酒などが堪能できる「ご当地グルメ屋台村」や「土佐の大座敷」、アーケード内にこたつと七輪が設置され、ゆっくり座って家族やパートナー、友人などで楽しめる「はりまやの大おきゃく」など、「食」をはじめ、「アート」、「スポーツ」、「文化」などをテーマに、延べ46のイベントが行われた。また、「デカフェス in 土佐のおきゃく」をはじめ多様なイベントが開催された他、「安芸のおきゃく」や「土佐くろしお鉄道特別企画サントリーバー&土佐の町家ひなまつりのおきゃく」など、高知市中心市街地以外でのイベントの広がりもあり、県内外から多くの来場者で賑わった。



3. 土佐の「おきやく」2025 スケジュール

イベント名	開催場所	主催者	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日
			土	日	月	火	水	木	金	土	日
1 お街で乾杯!!おきやくストリート	帯屋町一丁目商店街	高知異業種交流会あつた会	10:00~20:00	10:00~20:00							
2 ラ・ラ・ラ春まつり	東洋電化中央公園(1、2日) 帯屋町公園(2日)	高知街ラ・ラ・ラ音楽祭実行委員会	11:00~16:00	11:00~20:00							
3 第11回 全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐おきやくでPRコーナー	東洋電化中央公園ステージ	まんが王国・土佐推進協議会(高知県)	10:30~10:40								
4 第2回高知クラフトビールフェア	東洋電化中央公園	高知クラフトビール協議会	10:00~21:00	10:00~21:00						10:00~19:00	10:00~19:00
5 ご当地グルメ屋台村	東洋電化中央公園	土佐の「おきやく」事務局	10:00~21:00	10:00~21:00							
6 観光列車「志国土佐 時代(トキ)の夜明けのものがたり」特別企画 ~土佐のおきやくのものがたり 2025~	土讃線 高知駅~窪川駅間	四国旅客鉄道株式会社	10:00~16:00							10:00~16:00	
7 デニムきものと酒器・茶器展	和の文化発信基地aiiro	有限会社特選呉服いしはら	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00	10:00~18:00
8 ひろめdeおきやく	ひろめ市場	有限会社ひろめカンパニー	10:00~23:00	9:00~23:00	10:00~23:00	10:00~23:00	10:00~23:00	10:00~23:00	10:00~23:00	10:00~23:00	9:00~23:00
9 土佐くろしお鉄道特別企画 サントリーパー&土佐の町家ひなまつりの大おきやく	ごめん・なはり線車内及び奈半利町会場	土佐くろしお鉄道	11:00~15:30								
10 飲みもって 食べもって 寄附ぎふと	県内の協賛飲食店各所	認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議	※各店舗の営業時間に準ずる								
11 デカフェスin土佐のおきやく「アニバーサリー・ステージ」	東洋電化中央公園 特設ステージ	デカフェスin土佐のおきやく実行委員会、高知市	18:00~								
12 デカフェスin土佐のおきやく「ほくと乾杯リアルイベント」	東洋電化中央公園 特設座敷席	デカフェスin土佐のおきやく実行委員会	19:00~								
13 (こ) まんさい	はりまや橋商店街東詰	こうちまんがフェスティバル実行委員会	10:00~16:00								
14 世界で受賞ラッシュの土佐酒! 飲み比べ!	東洋電化中央公園	高知県酒造組合	10:00~21:00	10:00~21:00						10:00~19:00	10:00~19:00
15 デハラSHOP	東洋電化中央公園	デハラユキノリ	10:00~21:00	10:00~21:00						10:00~19:00	10:00~19:00
16 ちよい飲み手帳販売	東洋電化中央公園	NTTドコモ四国支社	10:00~19:00								
17 ローソン高知 カツオのはらんぼ串&四万十鶏へそまがり(チキンステーキ)	東洋電化中央公園	株式会社ローソン高知	10:00~20:00								
18 おびさんマルシェ	おびさんロード商店街全域	おびさんマルシェ実行委員会		11:00~日没							11:00~日没
19 食の祭典 第57回南国土佐血鉢祭	大橋通り商店街・ひろめ市場前広場	南国土佐血鉢まつり実施運営委員会	10:00~16:00								
20 第15回 土佐・ぶんたん祭	東洋電化中央公園北口	土佐文旦振興対策協議会	10:00~17:00								
21 第40回ドリンクラーはしご酒大会	受付場所/帯屋町ハラスローレ下	高知県社交飲食業生活衛生同業組合			18:00~20:00	18:00~20:00	18:00~20:00				
22 土佐のお座敷体験、土佐の酒肴	5日: ホテルおおりや 7日: ホテル高砂 8日: 土佐御苑	高知市旅館ホテル協同組合				18:30~20:30		18:30~20:30	18:30~20:30		
23 おきやく電車2025	電車車内	とさでん交通株式会社							19:00~		
24 中華でおきやく!	ザ クラウンパレス新阪急高知 2F 中国料理「マンダリンコート」	ザ クラウンパレス新阪急高知							18:30~20:30		
25 オールドアメリカンフェスティバル	東洋電化中央公園	アメフェス実行委員会							17:00~22:00		
26 植野食談 in 土佐の「おきやく」	濱長	NPO法人 高知の食を考える会							18:30~21:00		
27 安芸のおきやく2025	安芸市ちりめんじゃこ通り南西駐車場	安芸のおきやく実行委員会								10:00~20:00	
28 完唱チャレンジ!土佐の「おきやく」で歌いきりまショー!! 2025	東洋電化中央公園ステージ	株式会社第一興商 高知支店								14:00~16:00	
29 ジェットスターブース	東洋電化中央公園	ジェットスター・ジャパン株式会社								10:00~16:00	10:00~16:00
30 8日: ジャンピングマックス跳び箱四国一決定戦 9日: ニンジャMAX	帯屋町1丁目アーケード	スポーツマックス								12:00~18:00	12:00~16:30
31 はりまやの大おきやく	はりまや橋商店街	はりまやの大おきやく実行委員会								15:30~21:30	15:30~21:30

	イベント名	開催場所	主催者	3月1日	3月2日	3月3日	3月4日	3月5日	3月6日	3月7日	3月8日	3月9日
				土	日	月	火	水	木	金	土	日
32	よさこい春の舞	東洋電化中央公園、 帯屋町2丁目・京町	高知市商店街振興組合連合会青年部								16:30~ 19:00	16:30~ 19:00
33	山形県観光PRイベント	東洋電化中央公園	高知県交通運輸政策課								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
34	土佐の大産数	東洋電化中央公園	土佐の「おきやく」事務局								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
35	NIGHT★倶楽部 魚の棚商店街	魚の棚商店街	魚の棚商店街協同組合								16:00~ 21:00	16:00~ 21:00
36	みんなで来チャイナよ！YEGのワイワイ飯店	帯屋町パラソレ下	高知商工会議所青年部								11:00~ 19:00	11:00~ 19:00
37	土佐井グランプリ	東洋電化中央公園	どっぷり高知旅キャンペーン 推進委員会								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
38	井上ワイナリー・よさこいワイナリー 共同企画 「土佐ワインフェス」	東洋電化中央公園	よさこいワイナリー 井上ワイナリー								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
39	アサヒ生ビール 出張マルエフ横丁 in 高知	東洋電化中央公園	アサヒビール株式会社								10:00~ 19:00	
40	レッツ！ファン感謝選会チャレンジ！	東洋電化中央公園	高知県遊技業協同組合								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
41	喫茶で点心〜フードロス削減でつながる未来〜	東洋電化中央公園	高知県喫茶飲食生活衛生同業組合								10:00~ 19:00	10:00~ 19:00
42	土佐の「おきやく」プレオープン ゲートボール大会	高知県立春野総合運動公園 ソフトボール場B	高知県ゲートボール協会								10:30~	09:00~
43	土佐のおきやく2025 ザ綱引き	帯屋町アーケード ドトール前	高知県綱引連盟									11:00~ 16:00
44	プロアマ対抗戦 「高知ファイティングドッグス vs 四国銀行」	日本トーター野球場（高知球場）	高知ファイティングドッグス									12:00
45	ラテンミュージックフェスタ	帯屋町公園	obrigado花山海									10:00~ 16:00
46	よさこい高知文化祭2026高知県実行委員会presents 高知商業高校普通部・普通バフォーマンス	東洋電化中央公園 ステージ	よさこい高知文化祭2026高知県 実行委員会									11:00~

4. 経済波及効果の推計における前提条件

(1) 「2015年（平成27年）高知県産業連関表」をもとに、高知県（産業振興推進部統計分析課）が作成した「県経済波及効果簡易分析ツール（イベント開催用）」を用いて、経済波及効果（生産誘発額）の推計を行った。

従って、2016年以降の産業構造の変化や物価動向については勘案していない。

(2) 総消費支出額（直接需要額）の算定については、イベント実施企業や団体、及び来場者に対してヒアリング、アンケート調査を行った。

●調査対象企業（団体）数 80 回答企業（団体）数 57 回収率 71.3%

●来場者アンケート数 316

（土佐の「おきやく」期間中のうち、2025年3月8日（土）、3月9日（日）の2日間、東洋電化中央公園にて実施）

(3) 直接の消費需要により必要とされる消費財の一部のものについては、高知県外からの移輸入によって賄われるものとし、その他のものは自給可能とした。

(4) 来場者数

来場者数は、メインイベントが開催された東洋電化中央公園での集計（3月1～2日、3月5日、3月7～9日の6日間）をベースに、来場者、イベント実施企業・団体からのアンケート結果を踏まえ推計した（図表-1）。

図表－１ 来場者数推計

	高知県内		高知県外		合計
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
来場者数	57,140人	1,592人	2,742人	14,418人	75,892人
構成比	75.3%	2.1%	3.6%	19.0%	

なお今回の調査は、あくまでも土佐の「おきゃく」2025の経済波及効果調査であり「観光入込客数調査」ではないため、土佐の「おきゃく」2025の全46イベント（調査団体（企業）数80）の購入客、参加者、観光客のみを対象とした。

例えば、「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加した観光客は、明らかに「土佐のお座敷体験、土佐の酒肴」に参加したい意思を持って来場しているため、全員来場者数としてカウントする。一方、「ひろめdeおきゃく」のような、土佐の「おきゃく」の来場者と「ひろめ市場」の来場者の区別がつかない場合、その多くは土佐の「おきゃく」のイベントであることを理由に「ひろめ市場」に来場していないと考えられ、単純な延べ人数を土佐の「おきゃく」の来場者数とするのは過大集計となる。

イベントの場合、土佐の「おきゃく」開催期間中に来場された観光客のうち、「インターネットや雑誌記事、テレビなどをみて行きたいと思った」「知らずに来たが、開催していることを知りイベントに参加した」人たちを土佐の「おきゃく」の来場者数としてカウントすることがより正確となるため、今回もそれに則り集計した。

また、同日開催で同一人が重複してイベントに参加、食事、観覧した可能性があることから、回答のあった全てのイベントごとに来場者数、観光消費額などを調査、補正の上集計した。

（５）一人当たり観光消費額

一人当たりの観光消費額は、来場者へのアンケート結果を踏まえ推計した（図表－２）。

図表－２ 一人当たり観光消費額推計

	高知県内		高知県外	
	日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客
宿泊費	-	10,778円	-	13,280円
飲食費	4,618円	9,011円	3,889円	12,687円
交通費	524円	9,944円	2,167円	11,664円
土産代	523円	7,333円	1,917円	4,707円
その他	103円	1,222円	56円	1,384円
合計	5,768円	38,288円	8,029円	43,722円

(6) 土佐の「おきゃく」2025の総消費支出額（直接需要額）

土佐の「おきゃく」2025の総消費支出額（直接需要額）推計は、16億7,987万円となった。内訳を見ると、来場者による観光消費額

図表-3 総消費支出額（当初需要額）内訳

合 計	16億7,987万円
うち、主催者などの事業費	2,503万円
うち、来場者による観光消費額	16億5,484万円

（来場者数、一人当たりの観光消費額などの推計をベースに算出）が16億5,484万円、主催者・参加企業（団体）による直接経費が2,503万円となった。（図表-3）。

5. 経済波及効果について

イベントが開催されると、それに伴った様々な需要が発生し、地域全体に経済的な影響を及ぼすが、こうした経済波及効果は、主に3つに大別される（図表-4）。

(1) 直接効果

直接効果とは、当初需要により生じる最初の生産増加額を指す。

具体的には、下記のような総消費支出額（直接需要額）のうち、県内で調達できるものについて生じる効果となる。調達できない一部の需要については県外から移輸入してくることになり、県内での生産活動には結びつかないため、経済波及効果の分析上では除外する。

【イベント主催者が直接支出する経費】

パンフレット作成のための印刷・編集費、会場の展示・装飾費用、会場費、レセプション費用、スタッフのための飲食費・交通費、アルバイトなどの臨時雇用費用など。

【来場客（観光客）が個人的に支出する消費】

宿泊費、飲食費、買い物費、会場までの交通費、観光・レジャー費など。

(2) 間接1次波及効果

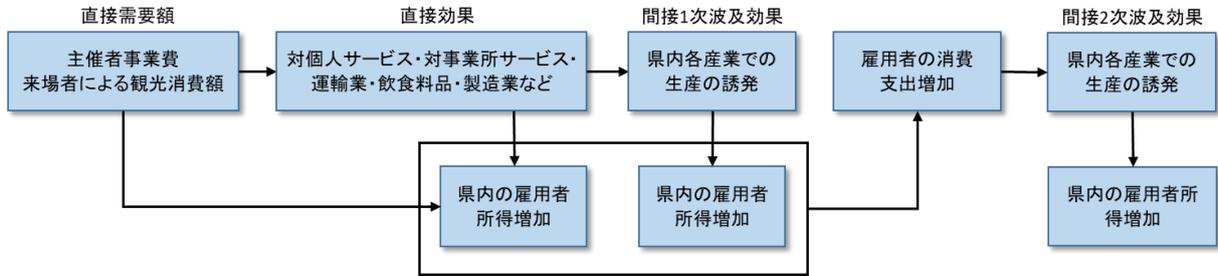
間接1次波及効果とは、直接効果によって生産が増加した産業で必要となる原材料など（財やサービス）を満たすために、新たに発生する県内生産の誘発効果を指す。例えば、自動車100台分の需要が増加し、全て県内で賄えた場合、直接効果としては車100台分の金額となるが、車を製造するために使われる部品（タイヤ・エンジンなど）、そしてその部品を作るための材料（鉄、ガラスなど）が波及的に生産される。このうち、県内で波及的に生産された部品や材料などの総額が間接1次波及効果となる。

(3) 間接2次波及効果

直接効果、並びに間接1次波及効果により雇用者所得が増加すると、一定の割合で消費支出に回されるため、県内の各産業で更なる生産が誘発される。この経済波及効果を間接2次波及効果という。

なお、直接効果、間接1次波及効果によって生じる付加価値は、雇用者所得の他に企業利益に相当する営業余剰がある。雇用者所得に対する消費の比率（消費性向）はある程度安定的であるが、営業余剰に対する企業の支出（設備投資など）は安定的でないことから、間接2次波及効果の計算に当たっては、一般的に営業余剰は対象外とする。

図表-4 土佐の「おきやく」2025 経済波及効果推計の流れ



6. 経済波及効果は 20 億 9,431 万円 (生産誘発倍率 1.25 倍)

(1) 経済波及効果

土佐の「おきやく」2025における経済波及効果は20億9,431万円となった。内訳は、直接効果13億9,655万円、間接1次波及効果4億6,857万円、間接2次波及効果2億2,920万円となり、生産誘発倍率は1.25倍となった（図表-5）。

図表-5 土佐の「おきやく」2025の経済波及効果

				(単位：千円)	
	生産誘発額	粗付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	雇用効果 (人)	税収効果 県税+市町村税
直接効果①	1,396,548	717,332	402,559	203	43,651
間接1次波及効果②	468,566	265,826	136,885	45	17,147
間接2次波及効果③	229,197	149,305	67,108	21	9,775
経済波及効果(生産誘発額) (①+②+③)	2,094,311	1,132,463	606,552	269	70,573
総消費支出額(当初需要額)	1,679,866	(直接効果+移輸入+雇用者所得)			
生産誘発倍率	1.25	=生産誘発額/当初需要額			

(注) 1. 内訳の各数値を四捨五入するため、内訳と合計の数値は必ずしも一致しないことがある。

2. 生産誘発額 直接需要額により誘発された各部門の生産額

3. 粗付加価値額 生産活動によって新たに生み出された価値をいい、家計外支出を除けば県民経済計算の県内総生産にほぼ対応している。粗付加価値額は、家計外消費支出、雇用者所得、営業余剰、資本減耗引当、間接税、及び(控除)経常補助金から構成されている。

(2) 粗付加価値額誘発額 11億3,246万円、本県名目GDPの押し上げ効果0.047%

経済波及効果により生じる粗付加価値誘発額は、11億3,246万円となった。

その内訳は、直接効果が7億1,733万円、間接1次波及効果が2億6,583万円、間接2次波及効果が1億4,931万円となった。これは、令和4年(2022年)度県内総生産(名目)2兆4,074億円に対し、0.047%の押し上げ効果があったことになる。

(3) 雇用者所得誘発額 6億655万円、雇用効果 269人

粗付加価値額のうち、雇用者に分配される雇用者所得誘発額は、6億655万円となった。この雇用者所得誘発額が、それぞれの産業の雇用創出にも影響を及ぼす場合、雇用者数を県内総生産で除して得られる雇用係数を用いて、雇用効果を算出すると、269人の雇用効果を創出したことになる。

※雇用者総数＝有給役員＋常用雇用者＋臨時・日雇

(4) 税収効果 7,057万円(県税3,054万円、市町村税4,003万円)

土佐の「おきゃく」2025がもたらす税収効果について、高知県全体で得られる効果を算出した結果、高知県税として3,054万円、高知県内の市町村税として4,003万円、計7,057万円となった。

7. 前回(2024年)との比較

(1) 推計結果の比較

前回(2024年)と比較すると、土佐の「おきゃく」2025開催による直接効果は7億668万円(+102.4%)の増加、間接1次波及効果・間接2次波及効果を含めた経済波及効果は10億5,945万円(+102.4%)の増加となった(図表-6)。また、来場者数は7万5,892人と前年比▲19.3%の減少となった(図表-7)。高知県内日帰り客が前年比▲29.5%の減少となった一方で、比較的消費単価の高い県外宿泊客が前年比+164.1%と大幅に増加した。その結果、土佐の「おきゃく」が始まった2006年以降、同じ計測方法で推計した経済波及効果としては最も大きくなった。

図表-6 経済波及効果の比較

	直接効果	間接1次波及効果②	間接2次波及効果②	経済波及効果(①+②+③)
2023年	4億836万円	1億3,638万円	7,490万円	6億1,964万円
2024年	6億8,987万円	2億3,055万円	1億1,444万円	10億3,486万円
2025年	13億9,655万円	4億6,856万円	2億2,920万円	20億9,431万円
前年比 (増減率)	7億668万円 (102.4%)	2億3,801万円 (103.2%)	1億1,476万円 (100.3%)	10億5,945万円 (102.4%)

図表－7 来場者数内訳の比較

(単位:人、%)

		高知県内		高知県外		合計
		日帰り客	宿泊客	日帰り客	宿泊客	
2023年	来場者数	35,973人	1,579人	1,722人	3,560人	42,834人
	構成比	84.0%	3.7%	4.0%	8.3%	100.0%
2024年	来場者数	81,084人	1,213人	2,731人	5,158人	90,186人
	構成比	89.9%	1.3%	3.0%	5.7%	100.0%
2025年	来場者数	57,140人	1,592人	2,742人	14,418人	75,892人
	構成比	75.3%	2.1%	3.6%	19.0%	100.0%
前年比	来場者数	▲23,944人	379人	11人	9,260人	▲14,294人
	増減率	▲29.5%	31.2%	0.4%	179.5%	▲15.8%

※各構成比は小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は100%とにならない

一人当たりの観光消費額を見ると、県外日帰り客を除き前年比で増加した。最も増加額が大きくなった県内宿泊観光客は、交通費(前年比324.3%増)や土産代(同225.9%)の増加が牽引し、全体としては前年比14,026円(57.8%)増の38,289円となった。飲食費については、県外日帰り客のみ減少しているものの、高い水準を維持している(図表－8)。同様に、東洋電化中央公園で開催されたイベント(3月1・2日:ご当地グルメ屋台村、3月8・9日:土佐の大座敷)における出店者1店舗当たりの売上高も、2019年～2025年にかけて約2.3倍に増加している。これは同期間の消費者物価指数を上回る増加であり、魅力的な店舗の出店により来場者の購買意欲が高まっていることが伺える(図表－9)。

図表－8 一人当たり観光消費額の比較

【県内観光客】

(単位:円)

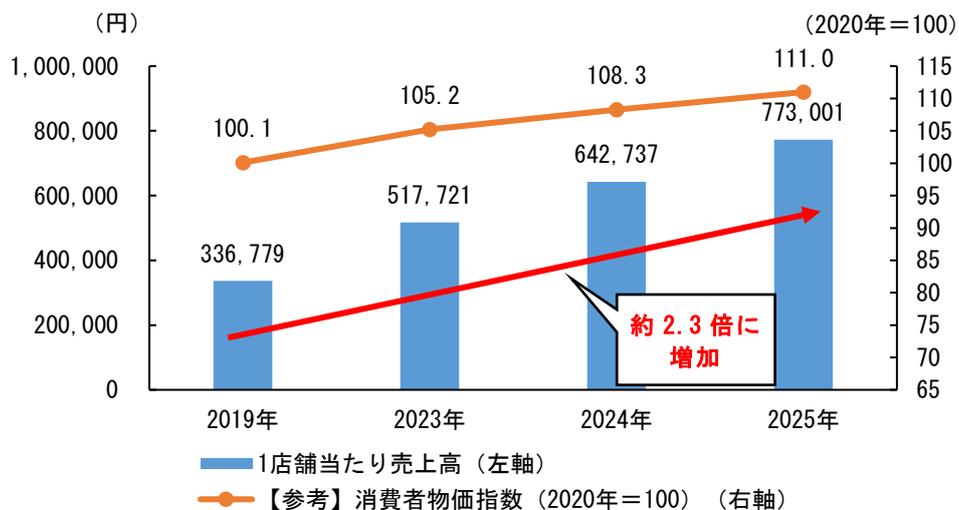
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2023年	-	2,971	396	461	142	3,970
	2024年	-	3,234	353	672	58	4,317
	2025年	-	4,618	524	523	103	5,769
	前年比	-	1,384	171	▲ 149	45	1,452
	(増減率)	-	(42.8%)	(48.6%)	(▲22.1%)	(78.2%)	(33.6%)
宿泊客	2023年	8,500	5,955	4,455	2,227	2,818	23,955
	2024年	11,688	7,800	2,344	2,250	181	24,263
	2025年	10,778	9,011	9,944	7,333	1,222	38,289
	前年比	▲ 910	1,211	7,600	5,083	1,041	14,026
	(増減率)	(▲7.8%)	(15.5%)	(324.3%)	(225.9%)	(575.3%)	(57.8%)

【県外観光客】

(単位:円)

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	合計
日帰り客	2023年	-	3,816	2,856	1,461	39	8,172
	2024年	-	3,985	4,154	3,519	115	11,773
	2025年	-	3,889	2,167	1,917	56	8,028
	前年比	-	▲ 96	▲ 1,987	▲ 1,602	▲ 59	▲ 3,745
	(増減率)	-	(▲2.4%)	(▲47.8%)	(▲45.5%)	(▲51.7%)	(▲31.8%)
宿泊客	2023年	13,818	8,153	12,255	6,156	716	41,098
	2024年	12,283	11,074	11,963	5,331	847	41,498
	2025年	13,280	12,687	11,664	4,707	1,384	43,723
	前年比	997	1,613	▲ 299	▲ 624	537	2,225
	(増減率)	(8.1%)	(14.6%)	(▲2.5%)	(▲11.7%)	(63.5%)	(5.4%)

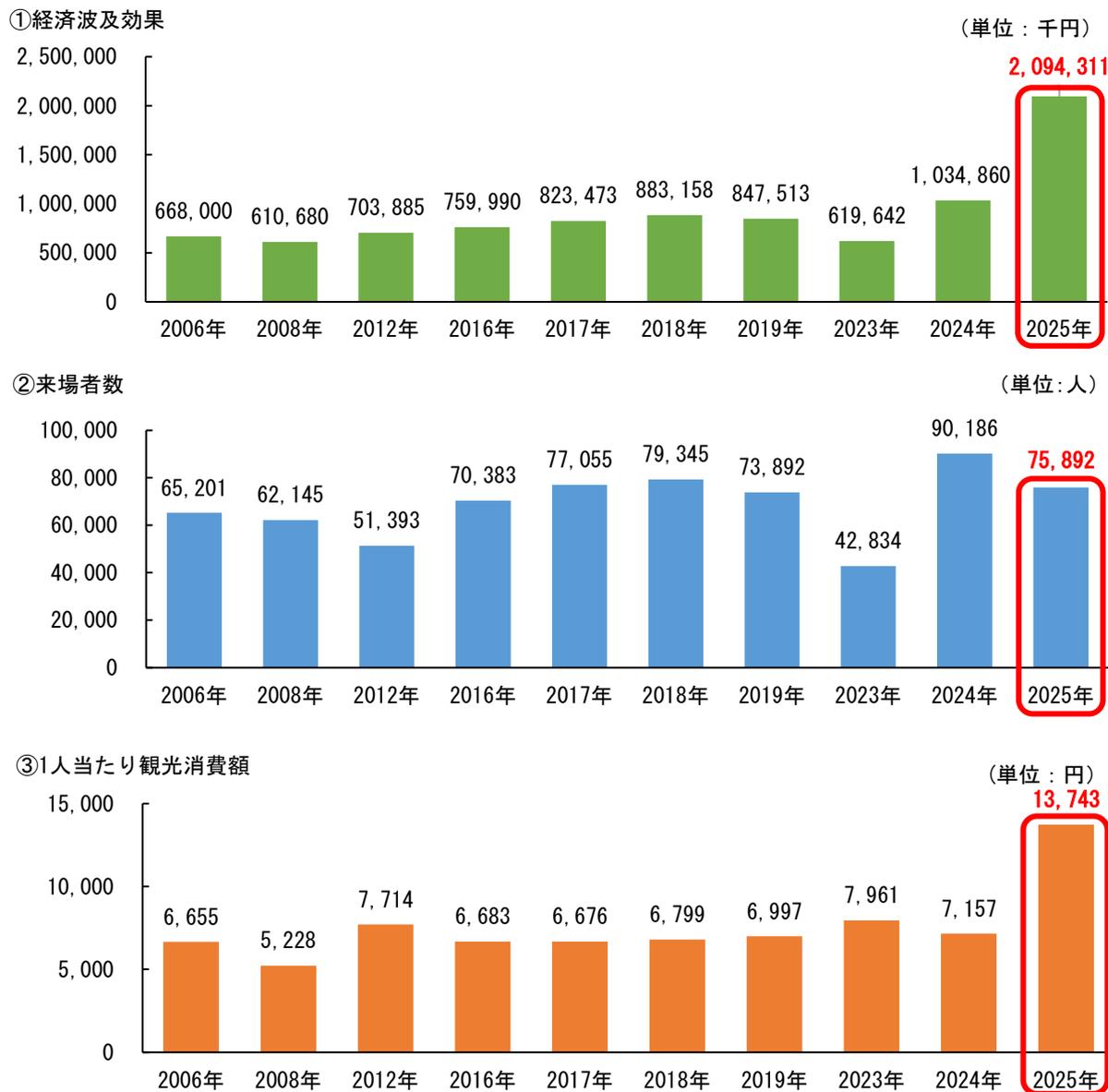
図表－9 1店舗当たりの売上高の推移



(注) 消費者物価指数は、2019～2024年は年平均、2025年は3月の指数を採用
(資料) 総務省「消費者物価指数」

また、2006年以降の推計データと比較すると、一人当たりの観光消費額は、最も金額の大きい県外宿泊客の割合が大きくなり、相対的に消費単価が増加したことから、前年比6,586円（92.0%）の大幅増となった（**図表－10**）。

図表－10 経済波及効果、来場者数、一人当たり観光消費額の推移



(注) 分析のために使用した「産業連関表」が調査年ごとに異なるため、単純な比較はできない。

(注) 「③一人当たり観光消費額」は、来場客属性（県内・県外、日帰り・宿泊）ごとの観光消費額を加重平均したもの

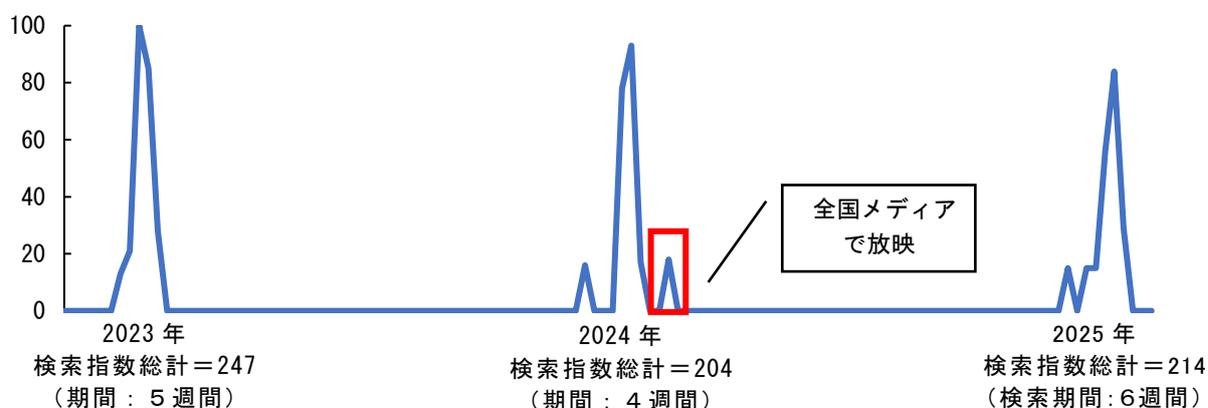
(2) 推計結果の要因分析

土佐の「おきゃく」2025に来場された県外宿泊客が前年に比べ大幅に増加したことで、経済波及効果が前年比2倍超となった。アンケート調査に基づく推計結果である以上、異常値が計測された可能性もあるが、以下のデータから、土佐の「おきゃく」2025を目的に来訪された県外宿泊客が、昨年にくらべて増加した可能性が推察される。

①メディア露出による検索数の増加

2024年4月に全国メディアにて「土佐のおきゃく」の特集が放映された（その後、2024年10月に再放送）ことで、土佐の「おきゃく」事務局への問い合わせが急増した。Googleトレンドにて当該期間に「土佐のおきゃく」というキーワードがどれくらい検索されたかを指数化すると、**図表-11**のように、2024年4月の全国メディアでの放映により、検索が増加していることが分かる。また、ピーク時（土佐のおきゃく開催中）の検索数自体は減少傾向にあるものの、2025年は例年より早い段階から検索されていることから、宿泊予約など観光の予定を決めるタイミングで検索された可能性がある。

図表-11 『土佐のおきゃく』というキーワードで検索された度合いの推移
（期間：2023年1月～2025年3月、ピークを100とした相対的指数）



（資料）Googleトレンド

②土佐の「おきゃく」公式HPのアクセス数増加

開催期間を含む28日間における、土佐の「おきゃく」公式HPへのアクセス数をみると、2025年は約369万回となり、前年比39.7%増となっている。特に、開催前1週間のアクセス数に限定した場合には、前年比69.6%と大きく増加していることから、例えばメディアで特集された土佐の「おきゃく」に興味・関心を持ち、開催前に検索した人が増加した可能性が考えられる（**図表-12**）。

図表-12 土佐の「おきゃく」公式HPへのアクセス数推移

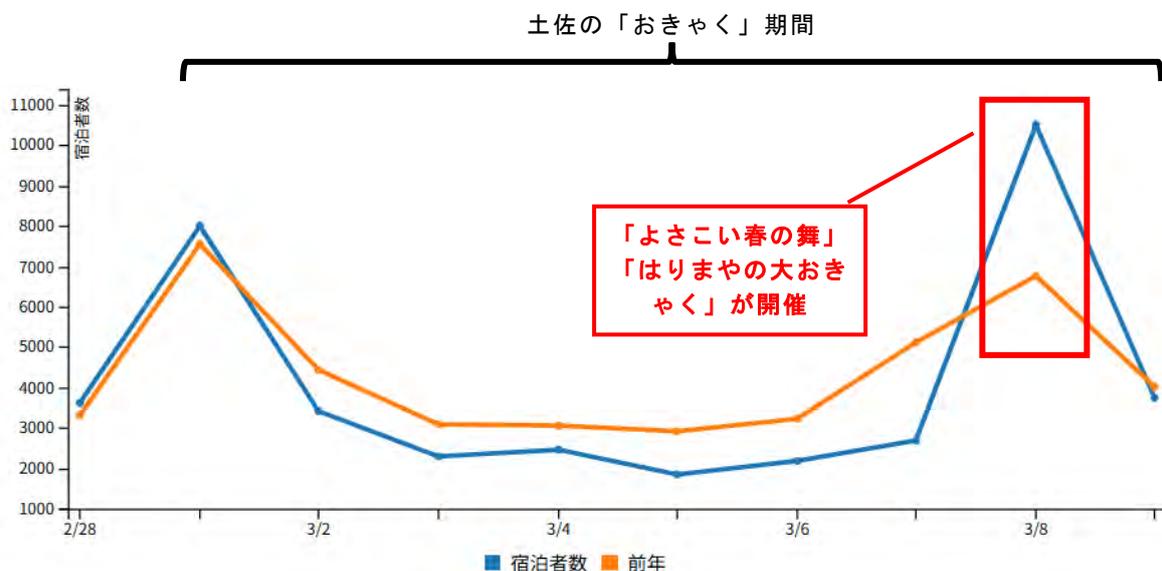
	前後1カ月間のアクセス数 (2/21～3/20)		うち、開催前1週間の アクセス数	
		前年比		前年比
2019年	1,679,117	—	373,433	—
2023年	1,829,404	9.0%	463,021	24.0%
2024年	2,639,867(※)	44.3%	542,715	17.2%
2025年	3,688,822	39.7%	920,455	69.6%

（※）うるう年の月末（2/29）考慮のため、2024年のみ2/22～3/20の期間28日間分を集計
（資料）アトリエエフ調べ

③高知市内宿泊者数・中心市街地観光施設入込客数の増加

土佐の「おきやく」2025の開催期間中（2025年3月1～9日）における、高知市内の宿泊者数の推移をみると、前年と比較して土曜日の宿泊者数が増加している。特に昨年と異なり、宿泊客は「よさこい春の舞」や、こたつと七輪を囲んで宴会ができる「はりまやの大おきやく」が開催された3月8日、第2週目の土曜日に集中している。つまり、前年よりも休日に滞在した宿泊客が増加していることから、土佐の「おきやく」のイベントが集中する土日、特に全国メディアで放映された「はりまやの大おきやく」や、高知ならではの「よさこい」を狙って宿泊した可能性が考えられる（図表-13）。

図表-13 土佐の「おきやく」期間中における高知市内の宿泊者数推移



(資料) 観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」

また、高知県内の主要観光施設における、入込客数の対前年度比をみると、2025年3月では高知県全体で前年同月比81.4%となっている。一方で、高知市中心市街地の観光施設では同101.4%となっている。2025年3月全体の実績ではあるが、高知県全体で観光客数が減少している中、高知市中心市街地に絞ると逆に観光客数が増加しており、観光客が集中していることが分かる。

図表-14 高知県内主要観光施設における入込客数の対前年同月比

(2025年3月、速報値)

高知県全域 (2025年3月)	81.4%
うち、高知市中心市街地周辺 (注)	101.4%

(注) ひろめ市場、高知城懐徳館、高知城歴史博物館、高知よさこい情報交流館

(資料) 高知県観光政策課

おわりに

土佐の「おきゃく」2025は例年同様、県内外へのポスター設置、各種SNS（Instagram、Facebook）での情報発信に加え、大阪の高知県産品を扱うアンテナショップ「とさとさ」にて、2024年9月7日・8日の2日間土佐の「おきゃく」のPRが行われた（写真-1）。さらに、全国メディアにて土佐の「おきゃく」が特集されたことで、本イベントの認知度が一気に高まった。サンプル調査による推計のため、今回の来場者数内訳が異常値となっている可能性もあるが、高知県外での土佐の「おきゃく」の認知度向上により、消費単価の比較的高い県外宿泊客が大きく増加し、経済波及効果の大幅な増加に繋がった。今後も魅力的なイベントを多数開催し、効果的な情報発信を行うことで、県内の幅広い地域に「おきゃく」の効果が広がっていくことが期待される。

写真-1 アンテナショップ「とさとさ」でのPR

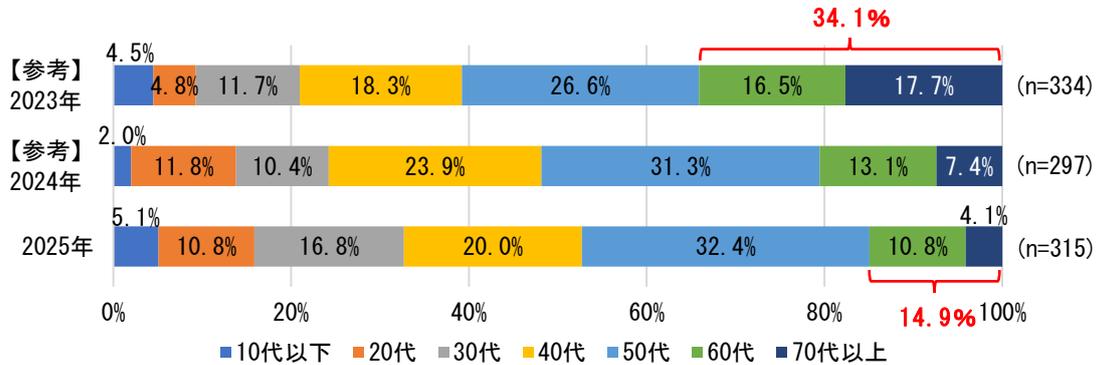


(写真) 土佐の「おきゃく」事務局提供

【参考資料】来場者アンケート調査結果¹

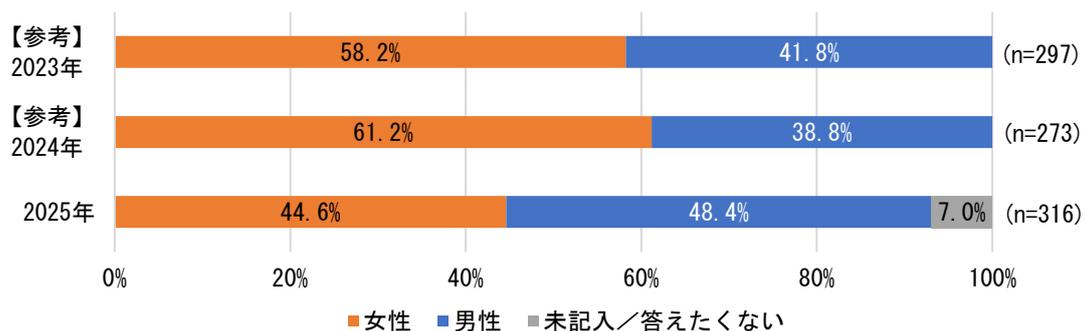
(1) 年齢

土佐の「おきゃく」2025来場者の年齢は、「50代」が32.4%と最も多く、次いで「40代（20.0%）」、「30代（16.8%）」となった。「60代」・「70代以上」の割合は2年連続で減少しており、2023年の半分以下（34.1%→14.9%）となっている。



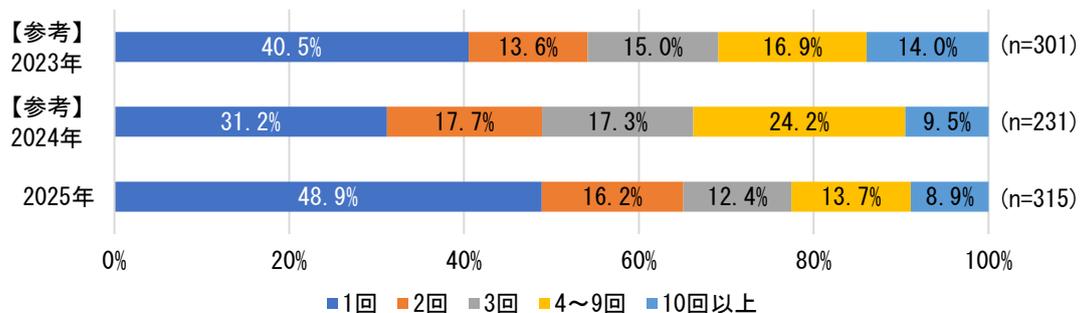
(2) 性別

来場者の性別は、「女性」が44.6%、「男性」が48.4%と、ほぼ同程度となった。



(3) 何回目の参加か

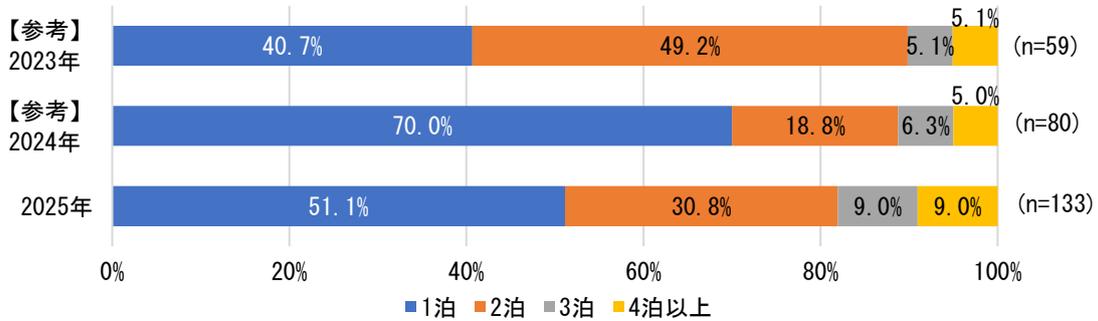
これまでに、土佐の「おきゃく」に何回参加したかを尋ねたところ、「1回」が48.9%で最も多くなった。初めて土佐の「おきゃく」に参加した人（＝「1回」と回答した人）のうち、約3分の2は県外からの参加者が占めている。



¹ 構成比は少数点第2位以下を四捨五入しているため、合計値は必ずしも100%とまらない。

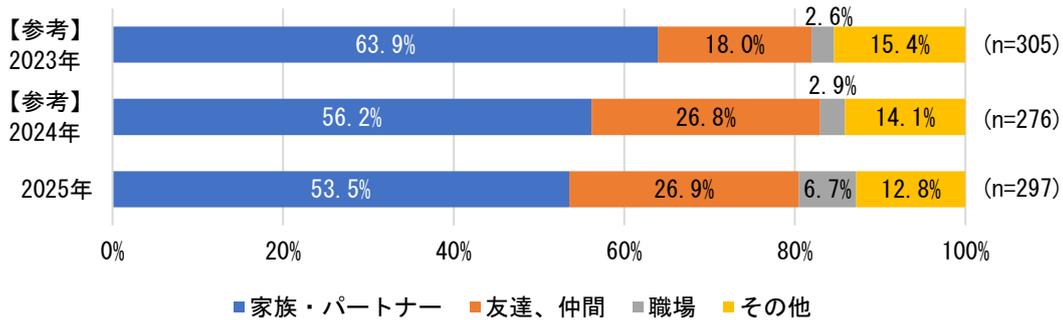
(4) 宿泊日数（宿泊者のみ）

宿泊者に対し宿泊日数を尋ねたところ、「1泊」が51.1%と半数を占め、次いで「2泊」が30.8%となった。宿泊者の総数だけでなく、「3泊」以上の長期滞在者数も増加している。



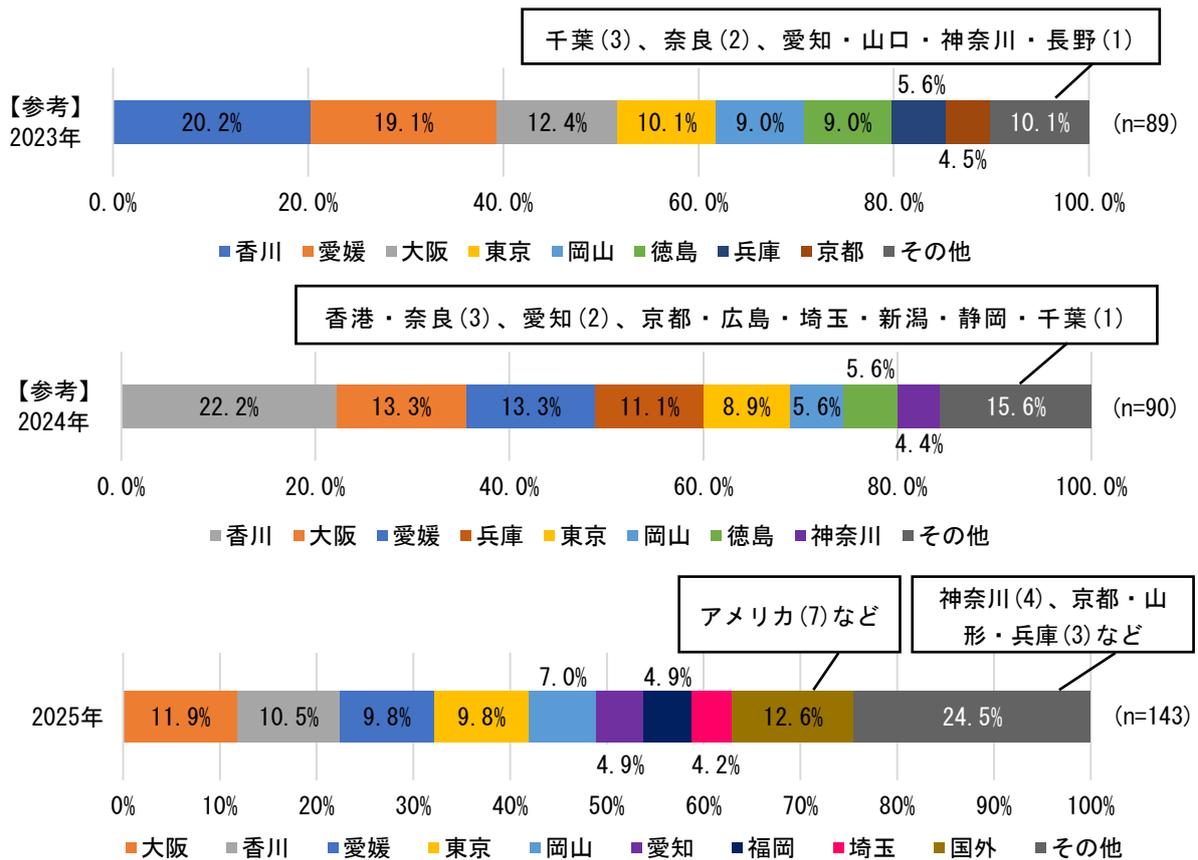
(4) 同行者の属性

同行者の属性について尋ねたところ、「家族・パートナー」と来場した人が全体の53.5%を占め、次いで「友達、仲間」が27.1%、「職場」が6.7%となった。コロナ禍を経て「友達、仲間」、「職場」での参加が戻ってきている。



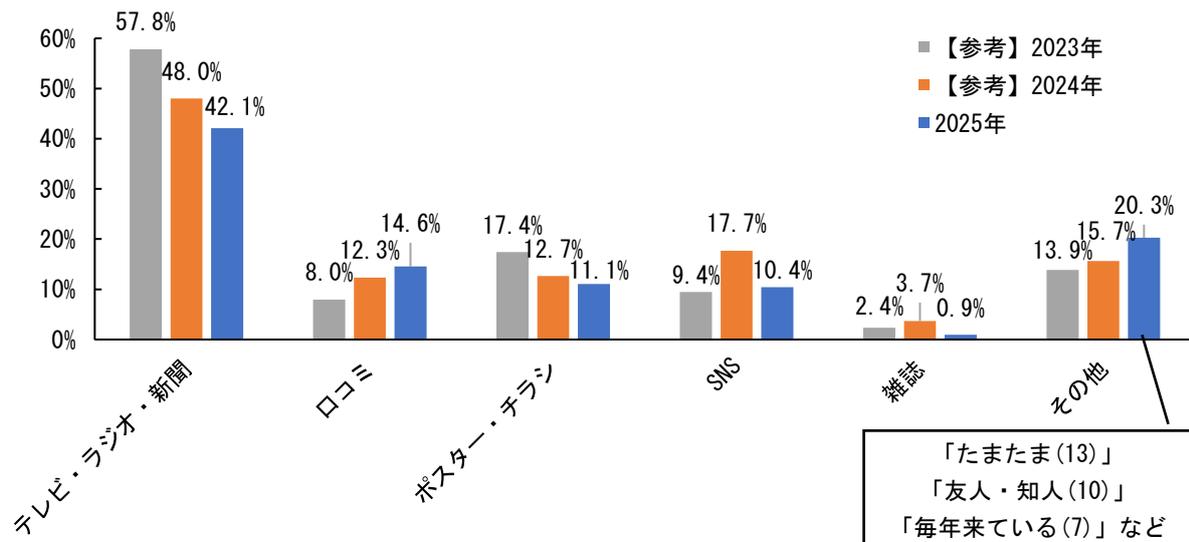
(5) 出発地

県外観光客に対し出発地を尋ねたところ、大阪府が11.9%と最も多くなり、次いで香川(10.5%)、愛媛・東京(9.8%)となった。2024年と比べ全国各地から来訪しており、インバウンドの来場者も一定数みられた。引き続き関西圏を中心に、直行便のある福岡、愛知などへの情報発信、インバウンドに向けた多言語化やキャッシュレス対応を継続して行うことにより、更なる観光客の入込が期待される。



(6) ①何で知ったか(複数回答)

土佐の「おきやく」を何で知ったかについて尋ねたところ、「テレビ・ラジオ・新聞」が42.1%と最も大きくなった。土佐の「おきやく」参加者の大多数を県内客が占めることから、例年「テレビ・ラジオ・新聞」の割合が一番多くなっている。



②何で知ったか（県外客のみ、複数回答）

県外客については、「口コミ」が23.4%、「テレビ・ラジオ・新聞」、ならびに「SNS」が14.9%、「ポスター・ガイドブック」が14.2%となった。知人・友人などからの純粹な「口コミ」による来場者が多く、土佐の「おきゃく」の満足度の高さが、新たな県外客を呼び込む要因となっていると推察される。また、「その他」の項目では、「大阪のイベント」で知ったという意見があり、アンテナショップ「とさとさ」でのPRが一定の効果を上げていると考えられる。

